中東欧3カ国（ブルガリア、ルーマニア、スロバキア）日本招聘

JICC は 2025 年 12 月 1 日から 12 月 5 日の期間に、ブルガリア、ルーマニア、スロバキアの中東欧 3 か国から原子力関係者を日本へ招聘した。

【経緯/目的】;

ブルガリア、ルーマニア、スロバキアの中東欧 3 カ国は原子力発電推進国で、各国のエネルギー問題に基づき新たに西側諸国設計の原子力発電プラントを採用しようとしている。3 か国の原子力関係者を日本へ招聘し、日本の原子力発電事業の現状と原子力産業界の動向を理解いただく。

【実施内容】;

ブルガリアからは新設を計画している国営会社 KOZLODUY NPP-NEW BUILD、ルーマニアからは原子力技術工学センターCITON、スロバキアからは原子力規制庁より計 7 名を日本へ招聘し、福島第一サイト、浜岡原子力発電所、原子力関連企業として日立 GE ベルノバ臨海工場、IHI 横浜工場、東芝京浜工場を訪問した。

【成 果】;

福島第一事故の教訓、および、原子力発電所では新規制基準に基づく対応を学ばれ、被招聘者からは原子力安全に対する考えを深めることができた旨を聴取した。また、原子力関連企業との打ち合わせ、および、製造現場の視察を通して、日本の製造技術・能力、品質維持・向上の取り組みなど日本の原子力製造業の現状を理解いただいた。

浜岡原子力館内の模型の前で

出典：中部電力株式会社

IHI 横浜工場訪問

出典：IHI